

農林水産大臣賞受賞

受賞者 NPO法人 かわね来風^{らいふう}

(静岡県榛原郡川根本町)

【この町に住み続けるために今私たちができること～4世代が幸せに暮らせる町にしたい～】

1 取組の動機と背景

川根本町では、高齢化、少子化、人口減少が著しいことが住民の間でも実感されていた。また町内の集落は山間に分散していることから、川根本町の地域コミュニティが機能しなくなるとの懸念が高まっていた。このような状況において、「皆がこの町で暮らし続けていくために何かすべき」との思いを持つメンバーによって、平成20年より活動を始め、同年11月にNPO法人として本格的に活動が始まった。

最初の取組として、平成21年に「川根を知ってもらおう」と農業体験や加工体験を始め、その後、農業農村体験の拠点として、町内キャンプ場の指定管理者となり、そこを拠点に日帰り農業体験などの活動を開始した。その取組は地域住民の目に触れ、グリーン・ツーリズムの活動が徐々に理解されるようになった。これをきっかけに「各世代の町民が元気に幸せに暮らしていくこと」につながる事業として農家が生産に専念しながら野菜・加工品の販売に挑戦できる「食と遊びの三ツ星村」を立ち上げるとともに、地域の野菜を集荷しJA直売所に配送する「川根清涼野菜農産物直送便」の仕組みを構築した。さらに、少子高齢化の著しい町内で高齢者と子育て世代の母親達がお弁当の宅配を通じて世代間の交流を行う「ママ宅プロジェクト」や、有償ボランティアシステム「ちょいサポ」など、自由な発想によるこれまでにない活動を展開している。

2 主なむらづくりの内容

- 町内の生産者が近隣市町で農産物を販売する仕組みとして地域の農産物を集荷し、JA直売所に配送する仕組みを構築するとともに、「川根やまそだち」のロゴ作成によるブランド化などに取り組んでいる。また、農産物運搬者は直売所の状況や消費者の動向を生産者に伝えるなどマーケティング機能を果たしており、生産、販売面の向上に寄与している。
- 今まで販売経験のない住民が農産物の加工・販売や接客を行う小さな挑戦の場として「食と遊びの三ツ星村」を開設し、野菜の直売、お弁当、菓子等の加工品の販売を行っている。ここでは商品作りや店舗運営を行う女性達の雇用の場となっているほか、グリーン・ツーリズムの企画を通じた地域住民と観光客との交流、観光客が地域情報を知る拠点の役割を果たしている。その結果、農業体験を自ら企画する農家や農家民宿に取り組む方も見られるようになっていく。
- 子育て世代の母親が、町内の高齢者へお弁当を宅配し、気軽に世代間の交流を生み出す仕組みとして当NPOがシステム化したのが「ママ宅プロジェクト」である。配達を行う女性は幼児を連れながら仕事を行うことができ、その上、高齢者の日用品の買い物代行や、高齢者からは野菜のおすそ分けをもらうなどの交流が生まれ、高齢者も子供達とふれあう楽しみを生む場にもなっている。

3 むらづくりの推進体制

